

SNS の流行による観光意識の変化

～「インスタ映え」が観光に与える影響～

SNS が流行している現代において、インスタグラムは利用者の観光意識にどのような影響を及ぼしているのだろうか。現代の 10 代、20 代の SNS 利用者は、インスタグラムの投稿をきっかけに観光をしたり、旅行を計画する際にインスタグラムを情報収集源としたり、インスタ映えする写真を撮ることが観光の目的の一つになっていたり、SNS が流行している現代において、インスタグラムは SNS 利用者の観光意識に影響を与えているのではないだろうかと考えた。このインスタグラムが SNS 利用者の観光意識に影響を与えていることを証明するために、本稿では、SNS 利用者の「観光動機」、「観光目的」、「観光情報の収集源」の三つに着目して研究を行った。そこで 10 代、20 代の SNS 利用者を対象にアンケート調査を行い、観光のきっかけや観光の目的にインスタグラムがどう影響しているか、また観光時のインスタグラムの利用傾向を考察し、現代の 10 代、20 代の SNS 利用者におけるインスタグラムと観光意識の関係性について検討した。

研究の結果、現代の 10 代、20 代の SNS 利用者は、インスタグラムの投稿をきっかけに観光をすること、旅行を計画する際にインスタグラムを情報収集源とすること、インスタ映えする写真を撮ることが観光の目的の一つになっていることが明らかとなった。つまり、「観光動機」、「観光目的」、「観光情報の収集源」の三つの観点からみて、インスタグラムの投稿をきっかけに観光をしたり、旅行を計画する際にインスタグラムを情報収集源としたり、インスタ映えする写真を撮ることが観光の目的の一つになっていたり、全てにおいて「インスタグラム」が関係していることから、SNS が流行している現代において、インスタグラムは SNS 利用者の観光意識に影響を与えていることが証明できた。